



工場外観。奥側に田園の風景を臨む豊かな環境に立地している

強靱でしなやかな環境づくりを目指した機械製作工場

AKIM本社屋 | 設計・監理：VIT

スマートフォンなどのハイテク機器に組み込むカメラモジュールや各種センサー、水晶デバイスといった部品を大量生産する精密機械の製造で世界的な活躍をしている企業の本社屋である。また、ソフトテニスの社会人チームを抱えており、敷地内にはテニスコートや研修センターといった福利厚生施設も併設している。

設計にあたって、最先端技術を担う企業の本社屋にふさわしい、強靱でしなやかな環境づくりを目指した。

工場の設計といっても「機械設計、資材搬入、組み立て、出荷」といった一般的なワークフローの検討では収まらない。敷地が広く、多人数で運営されていけばなおのこと、日や時間帯によって人と施設の関係は刻々と変化する。長期的な人的変動や景気変動を見越した弾力性のある空間づくりを念頭に、非常時の想定や日常の安全対策、来客対応のフロー、セキュリティ対策、厨房・食堂設備の充実による健康管理、エネルギー対策など、多様な未来の状況を捉えるべく議論を深めた。

何をもちて建築のデザインと呼ぶのか、ひたすら考え続けた設計でもあった。

(黒澤亮)

所在地 埼玉県東松山市大字宮鼻 860-12
 建築主 AKIM 株式会社
 用途 機械製作工場
 定員 100名
 設計担当 設計監理：VIT 黒澤亮、中田哲寛
 開発：東建企画設計 野口健吉
 構造設計：[本社屋] JFEシビル 入川英二
 [守衛所、車庫、倉庫、研修センター] VIT 黒澤亮
 設備設計：山崎設備設計 山崎純悟、鹿野大貴、越田志保、西澤一夏
 施工 建築：島村工業
 電気：中村電設工業
 空調・衛生：ソーセツ
 構造・規模 工場：S造 地上3階
 車庫：S造 平屋
 守衛所、倉庫、研修センター：W造 平屋
 敷地面積 9,971.71㎡
 延床面積 4,686.02㎡ (工場、守衛所、車庫、倉庫、研修センター)
 竣工 2018年8月
 撮影 黒澤亮 (VIT)、石井雅義 (Ishii Atelier)※、井上玄 (GEN INOUE)※※



工場のエントランスホール。海外からの視察も多く、ゆとりある空間とした※



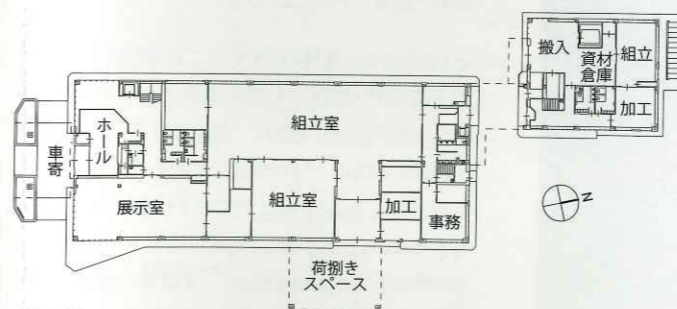
食堂。工場内に設けられた食堂と厨房施設により健康管理にも配慮している



上 | ゲート。手前は守衛所
 下 | テニスコートと研修センター。仕事が終わった後に練習できるよう照明設備も充実している



研修センター。社内研修だけでなく、さまざまなレクリエーションの起点となるスペース

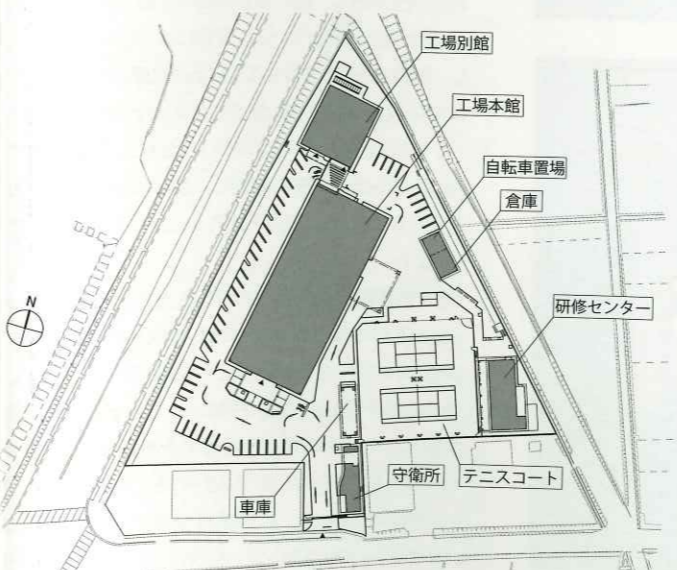


1階平面図



2階平面図

3階平面図



配置図



三角形の変則的な敷地に、各種機能が有機的に連携できるように配置した※※